



古屋司教認可
発行所 教区事務所
定価 一部 10円
予約 一年 100円

教区の一 致

古屋司教

去る一月十四日、新たに任命された五人の神父様(一名欠席)と今迄編集の労を取られた岡神父様に集まって頂き、今後の「教区時報」の方針に就て話し合いました。

京都教区と申しましたも、京都府を始め奈良、三重、滋賀県を含む広範囲に亘りますので、その統一、一致は誠に困難を極むる現状であります。「教区時報」の創刊号で述べましたように、教区の一 致を計る一手段として「時報」を発行する事になりましたが、各教会の主任神父様を始め信者の皆様が教区の意図を理解し、此の教区時報を通じて一層団結を固め、教区の発展に尽して下さる事を切望して居ります。

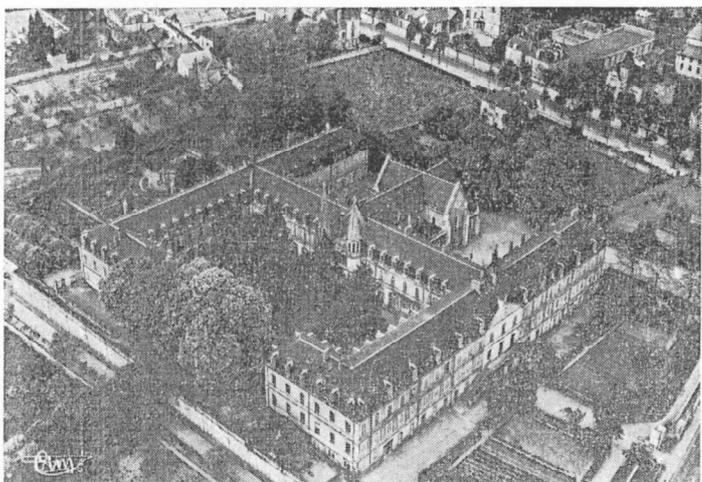
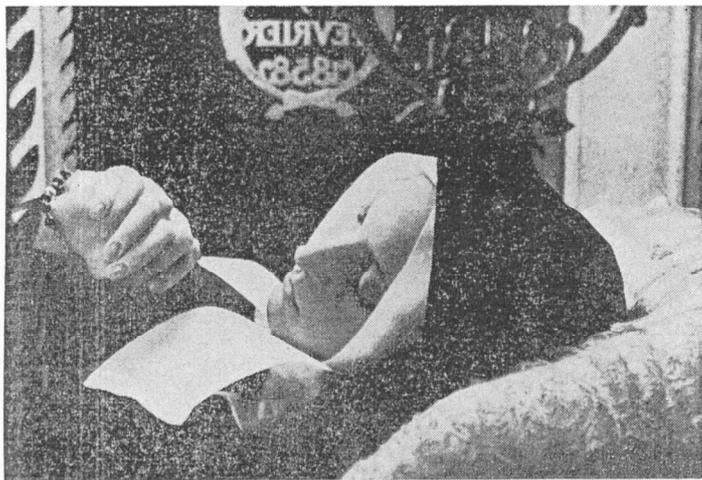
昨年引続き、今年も九月から再開される公会議の目的とする教会の一 致は、小教区の一 致を基礎として教区の一 致、更に全世界の教区の一 致へと進んで行かなければなりません。

小教区においては自分達の機関紙を発行している所もありますが、それはそれなりの意義があり、是非認めて頂き度いと思えます。又、「教区時報」は教区の機関紙として小教区で発行しているものや、或は日本

全国を目標とする「カトリック新聞」とは性質、内容を異にするもの方もあるように聞いて居りますが、類似しているものと考えている

又ヴェール会沿革略

京都伏見に聖母学院(幼小中高)を三〇〇年祭を祝う旧い会で、フランス中部の又ヴェール市に本部を有



再検討の上、「教区時報」独特の効果をあげるように、私達皆が協力しなければなりません。

「教区時報」を通じて教区意識を昂揚する為に、即ち、教区長としての私の意向を皆様にお伝えし、又皆様からのいろいろのニュースを報らせて頂いて、ますますお互いに協力して行く事が必要であります。その為に、各小教区毎に最も適当な方法を以つて一部でも多く「時報」を求め「時報」発行を可能ならしめる為に援助をして下さる様に、又、その内容が独特のものとして皆様に興味ある新聞として親しまれる様に協力し

し、ヨーロッパ各国、アフリカに於て教育事業、社会事業(病院、社会福祉)等を以つて教会の為に働いてゐる。本部修練院には同会会員であつたルルドの聖女ベルナデッタの

て下さらん事をお願いする次第であります。

教区時報委員

昨年六月より発刊されてきた「教区時報」の発展のため此の度委員会を設け一層充実をはかることになり左記の如くそれぞれ任命され、編集責任者の岡師を援助することになった。

- メリノール会
- ローレンス・オニール師 (京都市内の連絡)
- トーマス・マンティカ師 (滋賀県の連絡)

着 衣 式

又ヴェール愛徳会(伏見)

去る一月五日午前九時より伏見の聖テレジア教会(主任、萬木神父)に於て古屋司教様司式、村上、藤堂両師の助祭、副助祭に於て捧げられた荘厳ミサの中で又ヴェール愛徳会員会の志願者四名の着衣式が行なわれた。二人は京都教区出身、一名は横浜教区、一名は大阪教区出身である。当日参列した司祭は二十五名、他修道会のシスター約二十名、親族友人約百名にのぼり盛大な式を行うことができた。

司祭の異動

エドモンド・ライアン師
三重県津教会主任代理(二月一日附)

フランシス・カフリー師
小神学院院長、並教区事務責任者

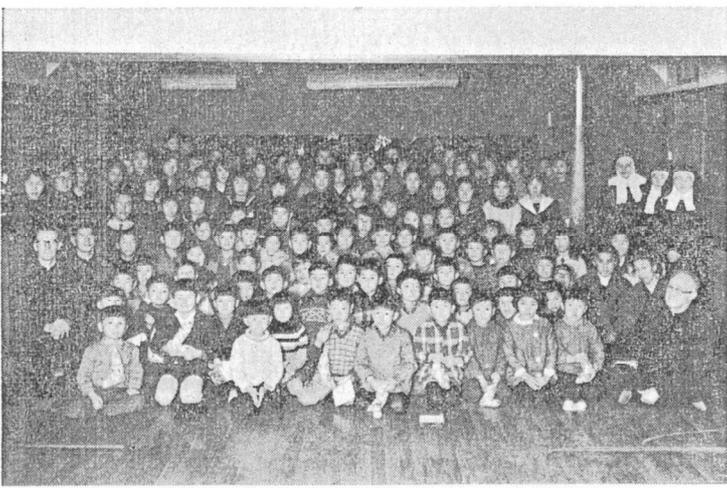
写真説明(上) ルルドで聖母出現をうけた会員の一人、聖女ベルナデッタの現在の姿(下)又ヴェール愛徳会フランス中部の又ヴェール市の本部

桑名のクリスマス

桑名教会

桑名のクリスマスはとてとてもにぎやかでした。主任テニエン神父様指導の英語教室から申しますと上級の組では英語劇「もう一つのクリスマス」(Another Christmas)を二組十四人がそれぞれ二回づつ出演しました。津セント・ヨゼフ学園に出かけた時、東芝三重工場英語教室で出演。これは、観ていた工場幹部さん達も、目に涙、工員さんが見ていたらさぞ「鬼の目にも涙か」といぶかしがる程だったとか、テ師もニコニコ顔でよろこんで報告して下さった程です。廿二日の土曜日もやり、廿三日はパーティにも出演、私も涙が出て仕方がない程美

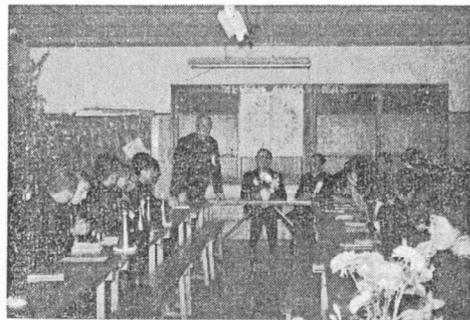
しい物語でした。(英語がわかるので「本当?」...)そのパーティでは、なごやかな雰囲気の中に、日頃の感謝をこめて各先生方に花束を贈り、それぞれプレゼントを交換し合いました。私のヘビの玩具がテ師に手渡された時ほど愉快なことはありませんでした。テ師からのケーキに一同クリスマスを味い、記念撮影の後、フォーク・ダンスに移りました。廿二日(土)には小学生中学生の英語クラスのパーティで二時半からそれぞれ練習した劇をシスターさんの指導で次々と御披露、歌う組、合奏、合唱、そしてプレゼントなど可愛いものやら、感心させられるものやら、美しいものやら、本当に、学校も、学年もちがう子供達が一つになつて、一生懸命やりました。保護者の方々も、三十人程見え、出演の幼稚園生四人も小学生の兄さんたちと交つて、たのしいでした。このクラスは三組に分れてカトリックのお話、英語も学んでおり、水曜日には低学年、土曜日には高学年(中学生も)と、約百二十人程です。それがすんで、引続い



ジュニア・クラス

て、上級英語クラスの劇があったわけですね。この劇の舞台、馬小屋は、只今、幼稚園を建築中の竹中工務店の主任さんが手伝つて立派につくって下さったものでした。

廿三日(日)の午後早々には、多度(桑名から養老の方に電車で廿分)に、夏期学校でのお友達に劇を見せるため他の組の子供会が、出かけました。多度の卅人程のお母さん達と



クリスマスパーティ

子供八十人程と仲よくクリスマスを迎えるパーティでした。廿四日は教会の中の飾付と、青年会の劇練習があり、洗礼もあつて夜はふけ、深夜ミサの準備に、静かに、聖堂に人々は集まりました。深夜ミサは、荘厳がさきものでしたし、テ師のクリスマス説教は、日本語で、廿分にわたる美しいものでした。よくあんなに上達されたものと一同感心してしまいました。「歩いてはまわり、まわつては歩いて、宿をさがしたヨゼフ様、神様のために家がなない、家がなない……」全くですよ。実感が一杯でした。その後、たのしみの青年有志の劇「ヨゼフ物語」がはじまります。一同、聖堂から出ると、伝導館で、婦人会の奉仕のウドンに舌鼓を

MEDITATION OF THE MONTH

OUR LADY of LOURDES

Mary to the world!
And the world for Jesus Christ!
That is what occurred at Lourdes and that is the message She preached to all.
O Lady of Lourdes, make us love Thee more that thereby we may learn to love Him more.

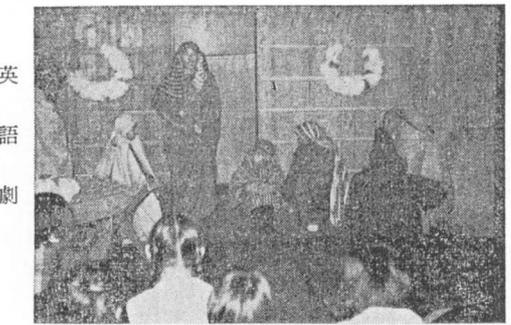
月の黙想

ルルドの聖母

マリア様が世界にもたらされるように。そして世界はイエズス・キリスト様のためにありますように。それはルルドに起った出来事で、マリア様が全人類にお伝えになられた御言葉でありました。ルルドの聖母よ、私達がイエズス様を愛するようになる為、御身を更に愛せしめ給え。

うちました。テ師は、両手に鉢をもつ結果になり、みながら、ツルツルとやる人と交つて、手の代りに鉢を合せて相手の代用。十一人の出演者の中には、私も交りました。皆んなワイワイ笑うので困りました。結婚話して練習に出られなかった青年の代役もやりました。一人の幼稚園の先生もやりたくて、お爺さん役をかって、本格的にドローランで化粧して、

衣装は、シスターさんの作った英語劇、英語クラスのもの一寸借用です。とにかく愉快で、セリフが多いのによく皆んな憶えたものです。私は「ごまかすのがうまいね。神父さん、順序が違つても、云うだけ云うもん」と感心されたり、くされたり。劇のねらいは、信頼、寛容で、青年達も好んで熱演してくれ、終つて、ダンスをたのしむ出演者達を見て、「よかった」とつくづく思ったものです。勿論彼らのためのケーキはとっておきましたよ。朝になつて廿五日、九時のミサの後、子供会がひらかれました。午後二時から約百人程、いつもシスターに学んでいる子供、ソロバン会の子供、近所のワンパク連中も、つきつきと出る劇に見られてしづか。そのうちプレゼント、ウドン・サーヴィスなど、連日健斗の婦人会のお母さんお婆さんにまじつて、シスターの御活躍、その後引つづいて子供のためのミサが四時から行われ、百人以上の子供達のかわいい歌、祈りに、馬舟の幼きイエズス様もニコニコ。翌廿六日は、阿下喜と云う桑名から電車で一時間



英語劇

かかる所にすむ、六人の信者さんたちのために、来援中のチャイコフスキー師とシスターさん達と御ミサに出かけ、二人のおばあさんは大変感激、御ミサはミシンを仮祭壇にして下さげられました。終れば大至急とつてかえし、午後二時からは桑名養老院で、慰問の劇。丁度前に、新教からも慰問があり両者ややかに、引つづいて演じました。養老院では、重ねての子供劇に大よろこび。早速、来年の約束もしてしまふ始末。子供もお年寄も、牧師さんもシスターも神父様も、顔中シワになる程ニコニコガヤガヤでした。勿論プレゼントも用意しました。子供並でしたけれど。廿七日は、京都にチャイコフスキー師と両神父は顔出し、留守中に、シスターさんは、阿下喜の病院に子供達三十人をつれて慰問劇、ここでも大好評であつた由。毎週一回、シスターさんが要理に出かける病院です。市中病院はおかげで費用不足で今年も慰問が出来ませんでしたのは残念。でも毎日曜日に出かけることを続けることで青年達も了解してくれて、あわたたくもたのしいクリスマスは終わったのでした。

桑名に幼稚園

(浅田記)

桑名市西方の風光絶佳の地に、桑名カトリック・メリノール幼稚園の建設がすすんでいます。名古屋在住の信者青島設計室の設計で竹中工務店施工、今春三月完成予定。一、二年保育、三組で四月十五日出発。次年度から四組で、保育室は南向、雁行でモダンなもの。昨年十二月二十四日付で三重県の認可もあり、二月五日迄願書受付中です。詳細は追つて。

可愛らしい

クリスマスパーティー

— 西院教会



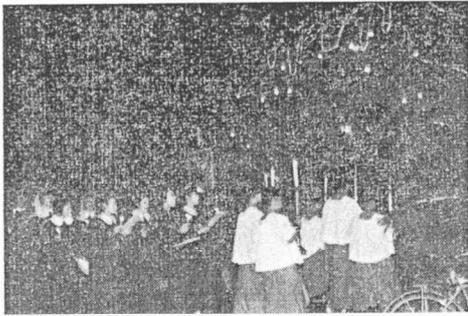
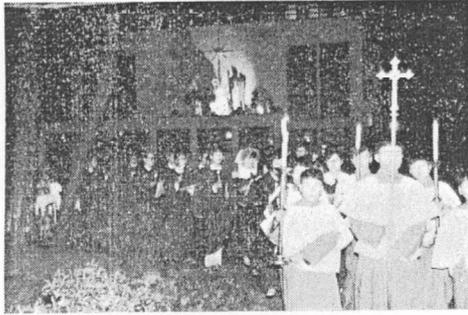
クリスマス慈善パーティーが行われ、こぞ集められたお金は京都共同募金会に寄附されました。

十二月二十三日(日曜日)京都西院カトリック教会を会場として、ク

御ミサへの招待状

— 衣笠教会

今度のクリスマスに衣笠教会では一近所に住んでいる未信者に特に印刷



された招待状を出してクリスマス朝の御ミサにあずかって下さるようにならうと努めました。招待状を受け取った人々はそれまでも神父様とシスタ様とに少しはつながりがありました。けれども宗教的にではなく郵



附して下さいました。又子供達は入場料として三十円の寄附をしました。これはキリスト様の御誕生日を祝して子供達がはじめて京都の貧しい人々に送るプレゼントとなりました。「与える事によって得る。」と

思い出の真夜中

— 西院教会

十二月二十四日、新たに受洗される人々の為に主任司祭は午後七時にミサを捧げました。ミサ後受洗者は洗礼式の練習をして、八時に受洗者の両親又は親族及び代父母と共に保育園の方に集まり、準備されたさやかな夕食をとりました。夕食後西院の聖ミカエル教会の聖歌隊は受洗者のためにクリスマス・キャロルの歌をうたいました。

十二月二十四日、新たに受洗される人々の為に主任司祭は午後七時にミサを捧げました。ミサ後受洗者は洗礼式の練習をして、八時に受洗者の両親又は親族及び代父母と共に保育園の方に集まり、準備されたさやかな夕食をとりました。夕食後西院の聖ミカエル教会の聖歌隊は受洗者のためにクリスマス・キャロルの歌をうたいました。

成人の日に堅信式

— 山科教会

消され、全員が「静けき真夜中、聖なる夜」を歌ううちに幼子は荘厳な行列をもって馬小屋に運ばれました。助祭、副助祭が侍者達と共に香部屋に引き下ると主任司祭による挨拶と説教が行われました。その後荘厳ミサが始まりました。その後、ミサはミサにあづかった方々の人々にとって大きな喜びでありましたが、特に洗礼を受けた人々にとっては思い出の深い記念となりました。即ち此の人々は二時間足らずのうちに二つの秘蹟を受けることができたのです。神の子となり御聖体に於ける救い主を受けることができたのであります。確かにそれは思い出の深い真夜中となった事でありましょう。

一月十五日の成人の祝日を選んで山科教会では司教様の司式のもとに久方振りの堅信授与式及び御ミサが挙行されました。この喜ばしい御恵みを受ける日にふさわしく空も清々しく晴れ渡り、この日を待ち望んでいました約四十名の受堅者を始め、山科教会の信者は心を浄め早朝より参集、司教様の御到着をお待ち致しました。午前九時丁度、司教様の御入室、今日の受堅者の中には司教様に始めてまみえる人もかなりあって、さすがに緊張して居ましたがお説教が進むにつれていつものお優しい司教様にすっかりとけこんで和やかなふんいきに成ってゆきました。テストの時、快答、明答一〇〇点満点の上出来で済み引き続いて授与式御ミサと荘重に無事に終って聖堂の外に出てきた信者達の表情は誰も喜びに溢れるばかりでございました。

直ぐその後伝導館で司教様を囲み祝賀パーティーを催しました。質素な赤飯の折詰も婦人会の方々のお心づくしの温かいお汁やお茶のサービスで素晴らしい会食となりました。殆ど全員が参加しましたので大変賑やかでその上司教様を中心に皆が一つの心にとけ合ってこの上もなく楽しい会でございます。司教様も大変お喜び下さいました。食後ローマ公会議のおみやげ話を面白くゼスタアを混えてお話しさって爆笑のうちに時のたつのを忘れてさき入りしました。美しい振袖姿の女性軍は花の咲き乱れた様に華麗で新春の堅信式らしく印象的でありました。山科教会も、ここに新に聖霊の賜物に強められた頼母しき信者を加えて、新年を主の御光栄の為に一層努力してまいりたいと聖霊の御助けを祈り決意を固めた事でした。

津 C・Y・O 主催 高校生大会開かる

去る十一月二十五日津教会に於て「C・Y・O 主催カトリック高校生大会」が開かれた。主催の C・Y・O は「カトリック青少年団」のことであり、約一年前に津教会で結成された。この会の目的は、祈り、研究、交歓を通じて教会内のカトリック高校生を団結するものであった。

大会前夜の二十四日には津、京都桑名の各高校生が参加してロザリオだしもの紹介、他已紹介などをし來賓の男子は教会で、女子は信者の家庭に分宿した。

二十四日は六時半のミサにはじまり朝食の後開会式にはいり、C・Y・O の会長中村君によって開会が宣せられた。

その後十分間の休けいの後懇談会に移り各教会高校生活動状況が発表され、又各々の活動内容について活発な討論があり、近々になって次期大会準備委員長松本君によって次期大会の大体の内容が説明され、それについて活発な修正案がでて、大会は一層の盛り上がりを見せた。その後昼食にうつりカレラリスに舌づつみをつくり全員はひと息ついた。

午後には記念さつえいの後、セミナーにうつり、セントヨゼフ女子学園の佐野教諭を議長に「宗教改革について」を議題にして各参加者今までの研究結果を十分に発表し大論戦が展開されたが佐野先生のうまい議長

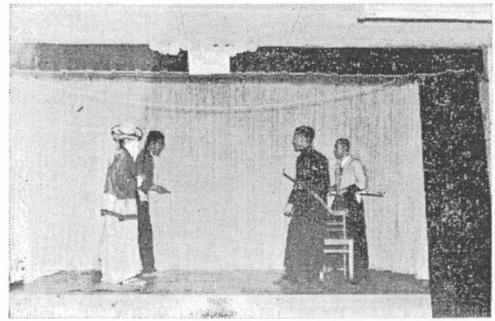


新聞配達少年招く

桂教会

「毎日朝早くからご苦労さん」と石川区桂川島尻堀町にある桂カトリック教会(レオポルド・H・チベサ神父)が、二十五日午前十時、近くの朝日新聞桂販売所の山本伸二君(一三) 桂中一年 六十三人の新聞配達少年を招いてクリスマスパーティーを開き、日ごろの労苦をねぎらった。

デコレーションが張りめぐらされた聖「み」堂や、高さ二層もあるクリスマスツリーの下で、ボーイスカウトやガールスカウトが演じる劇やコーラスを聞いたり、お茶とお菓子のパーティーなど、本場のクリスマス気分を味わったあと、チベサ神父から一人一人に学用品のプレゼントがあり、楽しい半日を過ごした。



つづく講演では「宗教改革について」と題して講師の徳川師がルター性格や彼の精神的苦悩プロテスタントの発生などについて一時間きつちりお話しになった。

その後十分間の休けいの後懇談会に移り各教会高校生活動状況が発表され、又各々の活動内容について活発な討論があり、近々になって次期大会準備委員長松本君によって次期大会の大体の内容が説明され、それについて活発な修正案がでて、大会は一層の盛り上がりを見せた。その後昼食にうつりカレラリスに舌づつみをつくり全員はひと息ついた。

午後には記念さつえいの後、セミナーにうつり、セントヨゼフ女子学園の佐野教諭を議長に「宗教改革について」を議題にして各参加者今までの研究結果を十分に発表し大論戦が展開されたが佐野先生のうまい議長

レジナ会新年会及び敬老会

恒例のレジナ会の新年会が敬老会を兼ねて一月十六日河原町三条の司教館で行われた。公会議からお帰りになつて間のない司教様をおむかえ名目での傍聴のプロテスタント代表者の方々も驚くほどのものであった。しかし、それぞれの背後にある国家は民度、文化すべてに大きな開きがあるが、一旦採決となると、常に九十パーセント以上の多数をもつて採否が決まり、全く聖霊の賜物としか思えぬ一致した意向が示された。又日本の司教方の御発言は全出席者の注目を集め、禁じられている筈の拍手が思わずわき上つたほどであった、更に誠に親しみ深く謙遜な教皇様のお人柄に触れられ、日本の司教団の謁見の際、異例の五十分の長きに渉つたこと、異例の御熱心な御関心の深いこと、御熱弁のあまり、御手にされた眼鏡を思わず握りつぶ

百名、その中には前回の公会議にはまだ見る筈が多かった東洋人、有色人の司教方も多かった。御発言の内容も保守的、進歩的それぞれ全く自由なもので傍聴のプロテスタント代表者の方々も驚くほどのものであった。しかし、それぞれの背後にある国家は民度、文化すべてに大きな開きがあるが、一旦採決となると、常に九十パーセント以上の多数をもつて採否が決まり、全く聖霊の賜物としか思えぬ一致した意向が示された。又日本の司教方の御発言は全出席者の注目を集め、禁じられている筈の拍手が思わずわき上つたほどであった、更に誠に親しみ深く謙遜な教皇様のお人柄に触れられ、日本の司教団の謁見の際、異例の五十分の長きに渉つたこと、異例の御熱心な御関心の深いこと、御熱弁のあまり、御手にされた眼鏡を思わず握りつぶ

医師会の集り

一月十三日(日曜日)十二時から司教館で司教様と指導司祭のプリオト神父様(ドミニコ会)を囲んで本年度京都教区カトリック医師会が開かれ、京都教区医師会会長加藤清氏他八名が参加した。

司教様から昨年の公会議のお話、痛患者の収容病院建設案等のお話を伺い、又私共の経験した事についてお互いに話し合ったり、年一回ではあるが有意義に楽しい時間を過ごすことが出来た。当日出席されたメンバーは次の通りである。

出席者(アイウエオ順)
石田 博和(カラシャ病院)
香川 輝正(関西医大香里分院)
加藤 清(京大精神科)
川端 つね(京大精神科)
小西 輝三(府立医大耳鼻咽喉科)
(高野教会)

編集室より

○新年を迎え「教区時報」も一層内容を充実させ、皆様の「時報」をよく利用して頂き度いと思っておりますので何卒皆様の御協力を更めてお願い致します。

○材料の関係で今日は新年号として読者の皆様には御不満の点もあろうかと思ひますが、御寛容下さらんことをお願い致します。

○今年も各教会、各団体のニュース奮ってお寄せ下さい。

宛 先
京都市中京区河原町三条上ル
下丸屋町
京都教区事務所内
教区時報係宛

○原稿の締切りは毎月十日まで。
○記事はニュースの他に美談、失敗質問、こぼれ話等もどしどし。
○原稿については紙面の関係上当方で取捨することもあります。ご了承願ひ致します。
○どうしてと記載を必要とする場合は其旨を明示して下さい。
○申込まれた部数の他、破損其他の都合を考えた上余分に送りました所もありますが、料金は予約分だけ送金して下さいは結構です。
○紙面の都合上、内容がニュースに限られる傾向になります。ご了承願ひ致します。

○請求書、受領書を時報発送の際同封致しますが、疑問の点があれば係り迄お問い合わせ下さい。
○各教会に於きましては出来る限り今後部数を増して頂くようにお願い致します。教会の事情により逆に注文を減らされる事もありますが、何卒時報発行によって、教区の発展の一事業が継続されるように御理解下さらんことを。

「心のともしび」放送実施表 (月～土)	
北海道放送	PM. 3.50～3.55
青森放送	AM. 9.55～10.00
岩手放送	PM. 5.50～5.55
東北放送	PM. 5.55～6.00
文化放送	AM. 5.40～5.45
東海ラジオ	PM. 4.50～4.55
ラジオ京都	PM. 6.15～6.20
ラジオ山陰	PM. 2.50～2.55
九州朝日放送	AM. 5.45～5.50
長崎放送	PM. 1.50～1.55
琉球放送	AM. 11.30～11.35
ラジオ大阪	PM. 6.00～6.05

ヨンがあり解散した。解散後も全員協力してあとかたづけをし、名残りをおしみなから散っていった。

次期大会は来年三月二泊三日の予定で京都で行なわれる。この大会の正式名称は今ところ未定だが「京都学連主催カトリック高校生大会」となる公算が大きい。準備委員長の松本君をはじめ一同はりきっている。今度こそ客として大会に参加する予定である。

されたことなど、出席者だけで司教様のお話を伺うのは勿体なく全教区の方々に聞かせたいようなお話でうかがい知る筈のないこの世紀の盛儀を、司教様のジュエチャーを交えての生き生きとしたお話ぶりに、ふと現実垣間見たような感動を覚え、更に今年も続けられるこの公会議にせめて私達として出来る小さな祈りを、絶やすことなく続けたいと思つた、参加者一同大いに満ち足りた気持ちのうちに二時半頃散会した。

- 小山 信男(開業) (山科教会)
- 関 和義(京都身体障害者福祉センター) (高野教会)
- 藤代 禎子(開業) (河原町教会)
- 光吉 正憲(開業) (大津教会)